

世界がひろがる  
未来につながる 香川大生の挑戦!

# CHALLENGE!

待っているだけじゃ、何も変わらない。未来に向けて自分から動き出す学生がいます。その先に待っているのは、新しい可能性。知らなかった世界。広い視野と深い洞察力。2016年の夏、香川大学生の挑戦を追いました。

三浦 裕貴  
経済学部 3年

## 香川大学で、 世界中に友達をつくる。

イングリッシュカフェとネクストプログラム



大学生時代に世界中に友達をつくりたい!そんな夢を叶える場所が、香川大学のオリブスクエア。2階にあるイングリッシュカフェでは香川大生と留学生が出会い、おしゃべりを楽しんでいます。留学生にも学部や学年を超えて友達ができると人気。ここはいつも学生たちでにぎわっています。イングリッシュカフェでは毎日、TOEICやTOEFL、IELTSなどの試験対策講座、英語でのフランス語講座、留学生によるドイツ語講座、パブリックスピーキングなど、さまざまな講座が開かれています。事前予約がすれば、アメリカ、カナダ、バンガラデシ出身の先生との1対1の英会話セッションも可能です。講座はすべて無料なのも、大学生には嬉しいポイントです。

香川大学は、留学も手厚くサポートしています。グローバル人材育成プログラム「ネクストプログラム」では米国のカリフォルニア州立大学フラトン校と協定を結びました。1年からTOEFL iBTの勉強を始め、2年次に留学。3年の夏に

帰ってきて、その後就職活動をして4年間で卒業。「留学先の単位も香川大学の単位として認定される、派遣先の学費は大学からの奨学金でカバーされるなど、学生事情を考えれば考えたプログラムです。今までに経済法・工学部の学生が毎年2~3人ずつ留学しています。留学に興味のある学生は1年次からぜひ相談しに来てください」と経済学部の水野康一教授は呼びかけています。

グローバル化する社会では、外国語が話せるだけではなく、異文化を知り相手を理解する力がますます求められます。あなたが一歩踏み出せば、新しい世界が広がります。イングリッシュカフェやネクストプログラムは、そんな一歩を踏み出せる場所です。

MOVIE!

学生のインタビューは動画で!



CHALLENGE 03.

# 超難関試験に挑む夏。

公務員をめざすなら法学部。  
 そう言える理由があります。



多くの学生が公務員を目指す香川大学法学部。今では様々な大学が公務員になれると謳っていますが、高校生の皆さんには、そこでどんな公務員になれるのか、国家公務員・地方公務員、自衛隊・警察・消防などの現業系公務員・行政系公務員・技術系公務員などの詳しい種類を確認して大学選びをしてほしいとお話しています」と辻上佳輝法学部副学部長は話します。

劉 奏惠  
 法学部 2年

「香川大学法学部には国家公務員や県庁で行政職に就く卒業生が多いのです。法学部は憲法・民法・行政法と...」

「多くの学生が公務員を目指す香川大学法学部。今では様々な大学が公務員になれると謳っていますが、高校生の皆さんには、そこでどんな公務員になれるのか、国家公務員・地方公務員、自衛隊・警察・消防などの現業系公務員・行政系公務員・技術系公務員などの詳しい種類を確認して大学選びをしてほしいとお話しています」と辻上佳輝法学部副学部長は話します。



学生のインタビューは動画で!

CHALLENGE 02.

# 仲間と一緒に、教師を目指す。

企画も運営も学生たち。  
 教育学部の教職自主サークル



中村 菜摘  
 教育学部 4年

教育学部の月曜夜6時、教員をめざす4年生が集まってきました。目的は夏の教員採用試験に向けての勉強会。企画運営するのは学生たち。集団討論や集団面接、模擬授業など、教員採用試験対策を行います。世話人と呼ばれる5名の学生が、過去問の分析や集団討論のテーマ設定、教育関係の時事問題の収集などを行い、それを教職経験豊富な教員たちが強力にバックアップして4年間の学びと実践的

な内容をつづける場もなっています。毎週40〜60名の学生が参加しており、共に教員を目指す多くの仲間から、様々な視点や考え方を学ぶことができます。本番さながらに行われる集団討論や模擬授業に取り組む学生たちの目は、真剣そのもの。学部を問わず自由に参加できるオープンさも魅力です。

「香川大学では、香川県教育委員会との人事交流による3名の小・中学校教員が、教員を目指す学生に対し学校現場に即した指導を行っています。教育学部の高木愛准教授もこのサークルをサポートしている先生のひとり。教員採用試験は、自治体ごとに面接や集団討論などの内容が異なり、試験準備をどう進めるかも重要です。教員からの的確な指導を基に練習に取り組むことで、回を重ねるごとに上達していきます。高木准教授は「学生同士の学び合いの場でもありますが、互いの知識を深め、異なる考え方に目を見聞かれる場として積極的に活用されています」と続けます。今までも、今も、そしてこれからも、大切なのは学び続けること。仲間と一緒に頑張る学生たち。夢がかなう日はもうすぐです。



学生のインタビューは動画で!

柳 幸恵  
 教育学部 4年

農学部 松本由樹 准教授の研究室では、養鶏農家を悩ませる鶏に寄生する害虫ワクモを除去する画期的な研究を行っています。従来ワクモは薬剤を使って殺傷する方法が一般的で、残留薬剤や薬が効かない抵抗性ワクモの出現などが懸念されていました。それに対し松本准教授は、ワクモの静電気のある場所へ集まるといった習性に注目。鶏舎に置いておくだけでワクモをおびき寄せ入った最後外には出られないというワナ「Trap&Trap」を開発しました。研究室では、東南アジアに自生するカボックの綿状繊維がワクモ捕獲に使えるのではないかと、更なる研究を進めています。中心で活躍しているのは4年生。24時間、鶏舎で静電気量を図るなど、データ収集や素材の解析を行っています。その結果、この天然繊維はワクモの捕殺効果が画期的に高いという新たな発見がありました。

ワクモ被害が少ない鶏の卵は、実はおいしさも向上する——これも松本研究室による卵の成分解析から明らかになっています。おいしさの科学的裏付けを持つ卵をブランド化できたら、消費者には分かりやすく、おいしい卵を提供でき、養鶏農家は価格競争に巻き込まれずにより卵づくりに専念できるというメリットも生み出します。日本は世界第10位の養鶏国ですが、世界の養鶏の多くは新興国で行われ、高価な除去法は現実的ではありません。一方で先進国ではOne World、

One Healthの考えのもと、人や生物全体の健康への意識が高まっています。自然を生かし、廉価で効果の高いワクモ除去装置は、世界の養鶏業者を惹きつける可能性に満ちています。

井手上 奈央  
農学部 大学院1年



CHALLENGE 04.

食料の明日を変える  
イノベーション。

農学部学生の研究が、大きな成果をもたらした!

今出 雄太  
農学部 大学院1年

MOVIE!

学生のインタビューは動画で!



JR丸亀駅前の「るるるカフェ」。瀬戸内国際芸術祭春会期初日の2016年3月20日にオープンした土日限定のカフェを運営するのは、経済学部3年生の福岡紗恵さんと13年の香川大生7人。丸亀の他大学生や社会人も一緒に約10人で活動をしています。福岡さんが経済学部の瀬戸内地域活性化プロジェクトに参加した際、丸亀市の「シャッター」を開ける会と出会い、会が主催する瀬戸内国際芸術祭2016年パートナーシップ事業「るるる」の一事業としてカフェをオープンすることになりました。友達を誘ったり、商店街の老舗和菓子店にオリジナルの「るるる饅頭」を作ってもらったりと一からのスタートです。

「るるるカフェ」の目的は高速バスの停留所待ち時間に来ておしゃべりを楽しむ方もちらほら。大阪から出張で来た方が商店街の再生案を語ったり、看板を見て「私も香川大出身なの」とお子さん連れで立ち寄って

くださる方もいたり。犬原のお客様は次の出張の時も来てくださったと福岡さんは嬉しそうです。このるるるカフェ、6月末でお休みに入り、瀬戸内国際芸術祭秋会期初日の10月8日に商店街の中心部で再オープン予定です。同時に丸亀港フェリー乗り場 Pier 39では、京都の学生との期間限定カフェにも携わります。「商店街には高齢の方が多く、街を盛り上げようとしてもアイデアが出ない、体力面が不安という悩みをよく聞きます。街再生は



粟本 温々  
経済学部 2年

CHALLENGE 05.

お城のまちをリノベーション  
るるるcafé

丸亀を愛する人が集まる、  
香川大生のカフェ

MOVIE!

福岡 紗恵  
経済学部 3年

学生のインタビューは動画で!



▼カフェのイチおしメニューはお客様ご自身で作るフアード。瀬戸内国際芸術祭に合わせたアートです。

# 香川大学生の就職を 充実サポート。

## キャリア支援センター



### 卒業後のキャリアについて共に考え支えます。

キャリア支援センターは、香川大学生の在学期間を通じて、生き方・進路・職業選択を考えながら、人生の目標を持って学生生活を送ることができるよう支援します。ひとりひとりが希望する進路を実現できるように、就職支援を充実させていくことを目的としています。

### 入学したその日から学生をサポート。

キャリア支援センターは入学から卒業するまで、香川大学生なら誰でも活用できます。就職活動関連書籍の閲覧スペースでは、そばにスタッフも控えており、就職活動の不安・疑問について、気軽に相談できます。

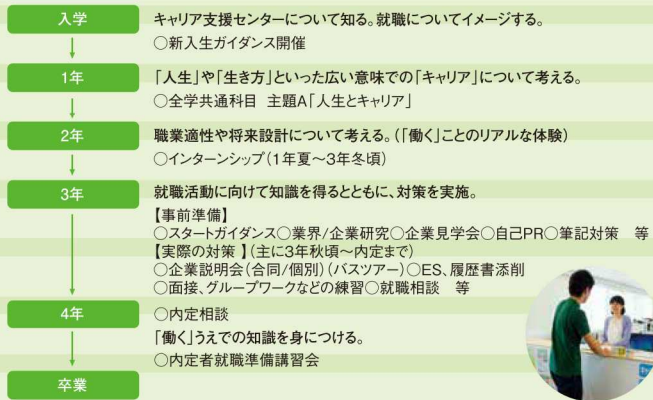


## STEP

### 民間企業に就職する場合



※公務員希望者へは、公務員セミナー(企業の場合の、業界・企業研究に該当)、公務員説明会等を開催。



## STUDENT VOICE

経済学部4年 **内堀 志歩** (新聞社内々定)

キャリア支援センターでの就職ガイダンスや、鍛えあげインターンシップ、面接練習などに参加しました。2年生の後半は就職ガイダンスに参加し、就職活動に対するモチベーションをアップ。鍛えあげインターンシップでは、企業の中で実際の仕事内容を体験。現場を間近で見ることで「働く」ということを具体的にイメージできました。この時に学生と地元企業とのつながりを大学がサポートしてくれたことも、大変心強かったです。就職活動時は面接練習に参加。客観的に見た自分の良いところ、悪いところを指導してくれて助かりました。キャリア支援センターのサポートがあったからこそ、念願の企業に就職が決まりました。



## ミュージカル風 大学紹介MOVIEを check!

香川大学の良いところを学生がミュージカル風に紹介する香川大学紹介動画。大学ホームページやYouTubeでチェックしてみてください。大学生協や図書館でも配信!



## 香川大学公式 Facebook はじめました。

いますぐQRコードをスキャン!  
いいね! してね。



## CHALLENGE 06.

# 香川大学生まれの ロボットベンチャー、世界に挑む。



株式会社未来機械  
代表取締役社長

みやげ 三宅 徹 (工学部OB)



株式会社未来機械のロボット。1か月の間に発電効率率が10%以上も落ちるといいます。人が水を使い、過酷な環境下で行っていたソーラーパネルの清掃作業を変えたのは、株式会社未来機械のロボット。

卒業生の  
インタビューは動画で!



MOVIE!

中東の灼熱の大地に広がるソーラーパネル。しかしその上には細かい砂が積もり、10日ごとに清掃しないと、1か月の間に発電効率率が10%以上も落ちるといいます。人が水を使い、過酷な環境下で行っていたソーラーパネルの清掃作業を変えたのは、株式会社未来機械のロボット。

香川大学工学部OBの三宅徹さんは、高度センサーで自走し水を使わない世界で唯一のソーラーパネル清掃ロボットを開発しました。未来機械は三宅さんが大学院生だった2004年に、学生ベンチャーとして創立した会社です。

入学したその日に学生ロボット研究所に入室した三宅さん。2年生の時にA・B・U・アジア・太平洋ロボットコンテストに初出場し、ベスト8進出。それが全国に放送されました。3年次にはフランスの半導体製造装置メーカーで国際インターンシップを体験。窓を垂直に移動する清掃ロボットを着想したのは4年生の時でした。世の中になかったロボットを創る。それは正解がない中、試行錯誤して道を拓くものづくりの世界です。窓拭きロボットは、吸盤で窓に張り付きながら、上下左右

に動かないといけない。どう解決するか自問自答の日々でした。悩んだ時は指導を受けていた教授の「技術者は本来孤独である」という言葉を、何度も思い出したそうです。

世界初の技術は大きな需要を呼び起こします。2005年に窓拭きロボットを愛・地球博に展示した際、この機械で太陽光発電パネルの清掃をという人と出会ひ、現地視察と試作機作りが始まりました。今では中東をはじめ世界各国から引き合いがあります。

起業を考えている学生に「必死に考えた後、それでもやってみたいときは思い切って始めましょう」とアドバイスする三宅さん。「卒業時に判断して就職してもいい。何かに打ち込んできた学生を企業は放っておきませんから」と背中を押します。三宅さんには息づくやってみよう精神こそ、香川大学の学風なのかもしれません。

